

## Sonora XJで 印刷品質が向上

株式会社エンジュ



製版工程が安定し、クリアでシャープな印刷品質を実現。UV印刷で5万枚、オフセット輪転機で20万枚以上の耐刷性があり、コスト削減も可能なら一切問題はないと判断して Sonora XJ プロセスフリープレートを導入。

### 社内一貫生産体制を構築し 高品質・短納期・低価格に対応

新潟県新発田市に本社を構える株式会社エンジュは、企画制作から印刷、製本まで一貫した生産体制を社内に構築し、高品質・短納期・低価格への対応を図ることで、ビジネスを大きく成長させてきた。創業は昭和9年。地元密着の印刷会社として、県内の上場企業、中小企業、官公庁、代理店などと長年にわたる信頼関係を築き上げてきた。3年前には東京に営業所を開設するなど、営業エリアの拡大にも成功している。印刷部門にはB3判オフセット輪転機から菊全判4色LED-UV印刷機、菊全判2色機、菊半裁判4色両面機、菊4裁判単色機までバラエティに富んだ印刷設備を擁し、ポスターから折込チラシ、各種パンフレット、さらには特殊原反まで幅広い商業印刷物を手がけてい

「インキの着肉性がよく、水が絞れ、網点がきれい。写真が眠くならず、スッキリした刷り上がりで、とても満足しています」

る。サイズ、メーカーの異なる印刷機が勢揃いした、この印刷部門に刷版を供給する製版部門には、Kodak Prinergy ワークフローシステムとKodak Magnus Q800 プレートセッターによる信頼性の高いCTPワークフローを構築している。特にMagnus Q800にはMCU（マルチカセットローダー）を搭載することで、サイズの異なる刷版もスピーディ、かつスムーズに出力している。



代表取締役社長 齋藤 節氏



生産管理部 次長 小野 正明氏



製造部 係長 頓所 桂氏



24 時間体制の B3 判オフセット輪転機



ロール紙から枚葉紙を生産するシーター



菊全判 4 色 LED-UV 印刷機

## 多品種・小ロット化が Sonora XJ の導入を後押し

現像処理が不要な Kodak Sonora XJ プロセスフリープレートについて、同社が初めて知ったのは 2015 年のコダックセミナーだった。代表取締役社長である斎藤節氏は、そのときの印象について次のように語っている。

「現像処理が不要になれば、品質が安定し、現像処理にかかるコストと時間が節約できる。そうなれば環境にやさしい会社を目指せる。耐刷性についても、20 万通しが可能であればコストアップの問題はクリアできると思い Sonora XJ の導入を模索しました」

実際、多品種・小ロット化が定着した印刷業界では、刷版に求められる耐刷性能が大きく変わってきた。同社でも、オフ輪の仕事も多くこなしているが、小ロット化の流れに歯止めがきかなかった。それでも 20 万通しを超える仕事もあり、耐刷性を重視する傾向にかわりはなかった。しかし大ロットの仕事のために現像プレートを使い続けるより、トータルコストと品質維持を考えれば、予備版の出力で問題なく対応できると斎藤社長は割り切って、Sonora XJ の導入へと大きく舵を切った。

## UV 印刷で 5 万枚、オフ輪で 20 万枚の耐刷性、 クリアでシャープな印刷品質を実現

導入に向けて同社は早速、社内で印刷テストを実施した。ただサイズ／印刷方式／メーカーの異なる印刷機が 5 台あるため、すべての機種で満足ゆく結果を得る必要があった。もし 1 台でも Sonora XJ を使えなければ、現像工程が残って二重の手間がかかってしまう。しかし、心配は取り越し苦労だった。テストの結果はいずれの機種でも良好で、耐刷性はオフ輪で 20 万枚、油性印刷機でも実績として 5 万枚を余裕でクリアした。UV 印刷機はマット紙で 5 万枚をクリアしている。この一方で Sonora XJ の印刷品質を評価するのは製造部 係長の頓所桂氏である。

「従来の刷版と比べ、Sonora XJ はインキの着肉性にすぐれ、湿し水を絞ることができます。網点もきれいに再現されるため、全体的にシャープでクリアな印象です。現像液の活性度に左右されることもなく、刷り上がりも非常に安定しています」

なかでも写真の「眠い感じ」がなくなり、スッキリとした印象になったと頓所係長は指摘する。

## コダック 合同会社

〒140-0002 東京都品川区東品川4-10-13 TEL.03-6837-7285(営業代表)  
大阪：050-3819-1266 名古屋：050-3819-1265 福岡：050-3819-1270  
仙台：050-3819-1255 札幌：050-3819-1250 金沢：076-200-9583  
製品のお問い合わせ先 JP-GCG-products@kodak.com  
<http://www.kodak.co.jp>

2016-07

## 夜間緊急時の出力にもスピーディに対応

社内テストの結果を受けて、同社は 2016 年 4 月から刷版を Sonora XJ に切り替えた。生産管理部 次長の小野正明氏は、製版部門での変化を次のように話している。

「自動現像機がなくなり、面倒なメンテナンスの手間が不要になりました。現像工程がないので、プレートの出力時間も短縮されました。薬液の購入費用、廃液の処理費用がゼロになり、コスト削減にも大きく貢献しています」

材料コストや環境負荷の軽減はもちろん、化学薬品をなくしたことで、健康被害が発生するリスクそのものがゼロになった。CTP と同じフロアで働く制作スタッフにとっても、安心・安全な職場環境が確立された。「絵柄が確認しにくい」「傷がつきやすい」という Sonora XJ の課題についても、現場スタッフが運用方法を改善することで対応した。視認性については色版をとり間違えないよう、CMYK の文字を大きく分かりやすく入れた。傷対策は出力した刷版を段ボールに入れて、階下の印刷工程へと運ぶようにした。印刷オペレーターも CTP の電源を入れると、すぐに刷版が出力できるため「夜間の緊急出力が容易になった」と喜んでいる。多様化する顧客ニーズに応えるため、同社ではここ数年、積極的な投資を続けている。ロール紙から枚葉紙をカット出するシーターや、B3 サイズに分割するスリッターは、用紙の無駄を省きコスト削減に貢献した。Sonora XJ もこうした同社の戦略のひとつだった。今後は製本部門を拡充し、内製化をさらに推進してゆく予定だ。コダックのサービスとソリューションもまた、同社の成長を支えてゆくに違いない。



## 株式会社エンジュ

代表取締役社長：斎藤 節

〒957-0082 新潟県新発田市佐々木 2362-8

TEL：0254-21-5288 (代表)

FAX：0254-27-8700

<http://www.enju.co.jp/>

詳細は

<http://www.kodak.co.jp>

